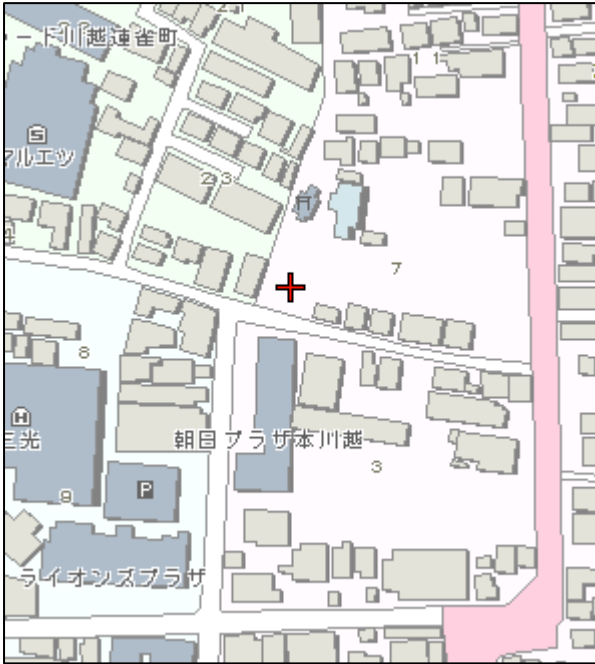


## 22. 出世稲荷神社の大イチョウ（松江町1丁目）



いちょう窪という地域の愛称も生まれた川越のシンボル樹です。足もとには出世稲荷が鎮座しています。2本あるいちょうの木は樹齢600年を超えるといわれ、大きい方は幹回り7mもあります。

